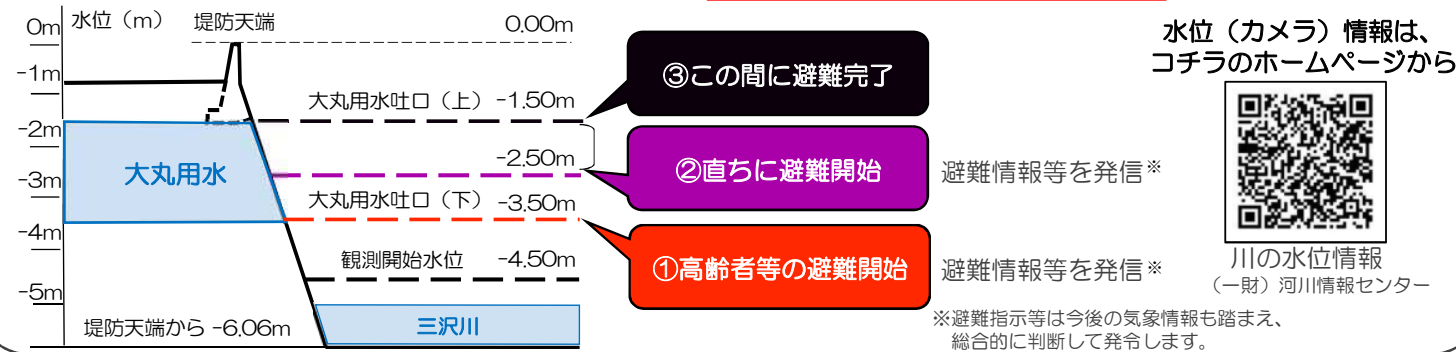


■避難の目安（令和元年東日本台風の水位情報を基に作成しています。）

多摩川の避難指示等が出た場合は、下の水位に達していなくても避難行動を開始してください。

判断の目安の水位 (南武線下流簡易水位計)	住民がとるべき行動	情報入手方法
③ 水位 -2.50m ～ -1.50m	この水位の間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了	HPの水位計及びカメラで状況確認
② 水位 -2.50m	直ちに避難開始 ・緊急避難場所等の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始	HPの水位計及びカメラで状況確認 メールニュースかわさき受信 パトロール車等による広報
① 水位 -3.50m	高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい、協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始	

※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3. 発信する情報」をご確認ください。



三沢川周辺の緊急避難場所



台風や大雨に備えて



台風や大雨などの風水害は、天気予報などで事前に情報を得て、早めの行動ができる災害です。大切な命を守るために、できることから始めてみませんか。

1 災害リスクを確認する

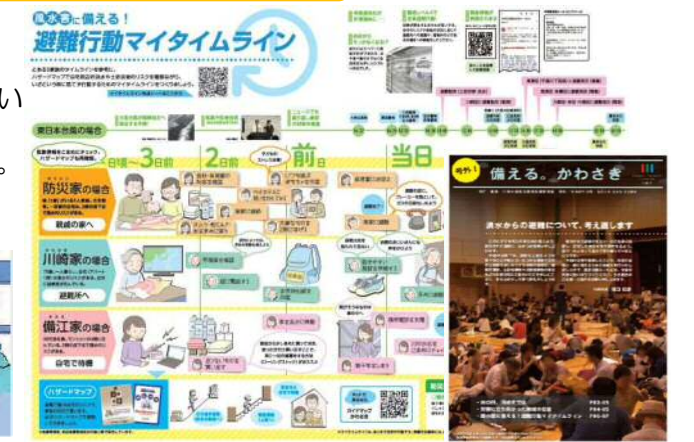
ハザードマップは、洪水による浸水や崖崩れなどの災害が起きる可能性がある場所を示した地図です。自宅で安全が確保できるときは、自宅に留まることも避難の方法です。まずは、ハザードマップで自宅のリスクを確認しておきましょう。



2 避難先や、避難行動を事前に考えておく

台風予報などの情報を知ってから、災害が来るまでの時間をうまく活用することが大切です。いつ、どこに、どうやって避難するかを事前に考えて、いざという時に備えましょう。詳細については、「備える。かわさき」をご覧ください。

- ・屋内待機 (自宅待機)
- ・立ち退き避難
- ・垂直避難



※ハザードマップや「備える。かわさき」・「号外！備える。かわさき」は、市危機管理本部や各区危機管理担当の窓口で配布しています。

3 情報の入手先の確認

情報の入手先について、日頃から確認をすることが大切です。

- ・川崎市ホームページ/川崎市防災気象情報
河川の水位情報のほか、気象レーダーやピンポイント天気予報、降水短時間予測などの情報をホームページで公開しています。
- ・メールニュースかわさき
登録したメールアドレスに川崎市の防災、気象、災害の情報を配信します。配信を希望する方は、下記アドレスまで空メールを送信してください。(パソコン・スマートフォンから mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp)
- ・防災テレホンサービス
防災行政無線の放送内容は、電話でも聞くことができます。
◇県内の一般加入電話、公衆電話及び一部IP電話 0120-910-174 (通話料なし)
◇携帯電話、PHS、県外の一般加入電話・公衆電話 044-245-8870 (通話料あり)



川崎市防災気象情報



メールニュースかわさき

災害時の連絡先

- 避難等に関すること..... 多摩区役所危機管理担当 TEL 044-935-3146
- 道路、水路、河川に関すること..... 多摩区役所道路公園センター TEL 044-946-0044
- 救助が必要なときは..... 消防署 TEL 119

三沢川下流部周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）解説

1. 三沢川下流部周辺への避難情報の発信

三沢川の下流部周辺地域の皆様に対し、三沢川の水位に着目した避難に関する情報発信を本市が行います。避難に関する情報を受けたら、適切な避難行動を取れるようにしましょう。

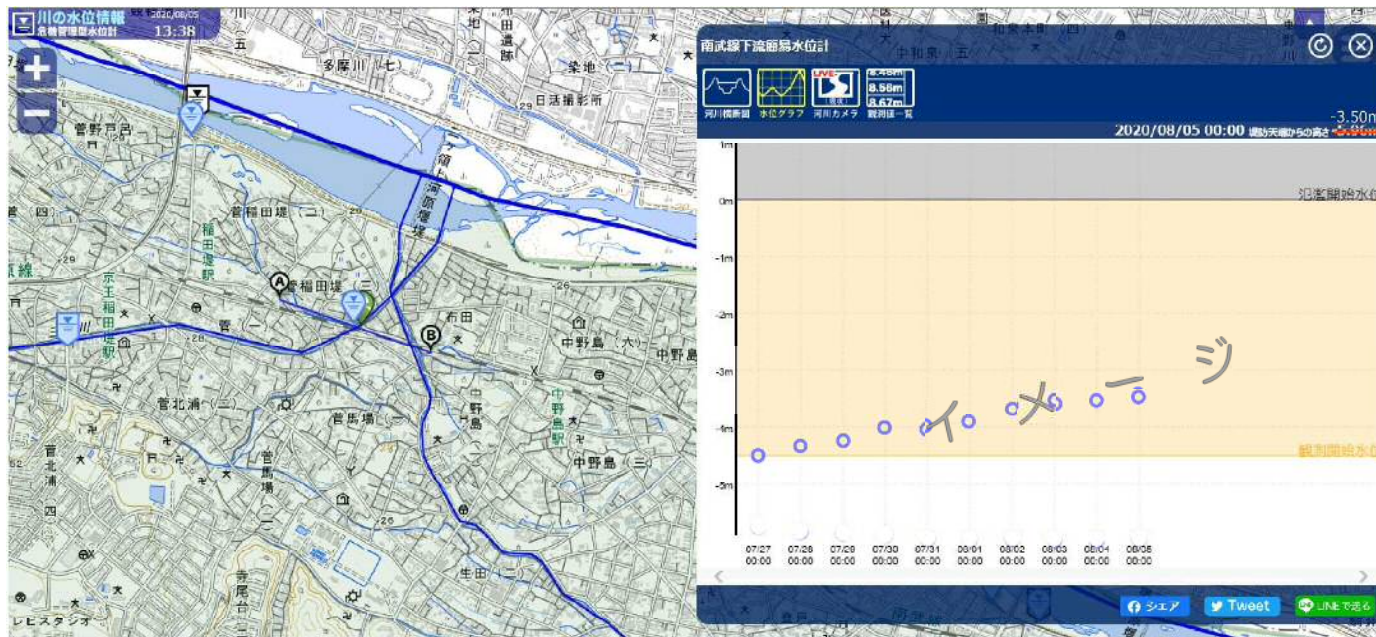
※既に多摩川の水位で避難指示等が発令されている場合や、大丸用水以外の水路等からの浸水が発生すること考えられますので、三沢川下流部周辺への避難に関する情報を待たずに、適切な避難行動を取るようにしましょう。

2. 三沢川下流部周辺の水位計・カメラ

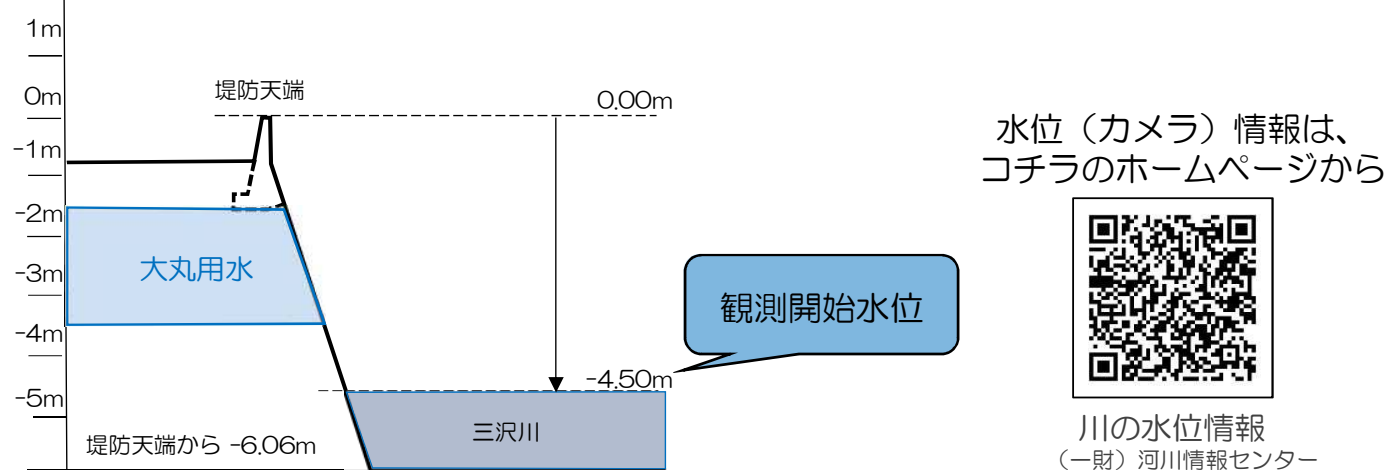
三沢川下流部では、JR南武線の近傍（大丸用水樋門付近）に危機管理型水位計及び簡易型河川監視カメラが設置されています。

台風等の大雨で三沢川の水位が上昇すると、水路からの水が河川に入りづらくなる可能性があるため、水路や河川の状況に注意しましょう。

※危機管理型水位計は洪水時に特化した水位計で、一定の水位に達したら観測を開始します。通常時は観測していません。



(出典：川の水位情報(一般財団法人河川情報センター))



水位（カメラ）情報は、こちらのホームページから



川の水位情報 (一財) 河川情報センター

3. 発信する情報

三沢川の水位に応じて、本市の判断のもと様々な手段で避難に関する情報を発信します。

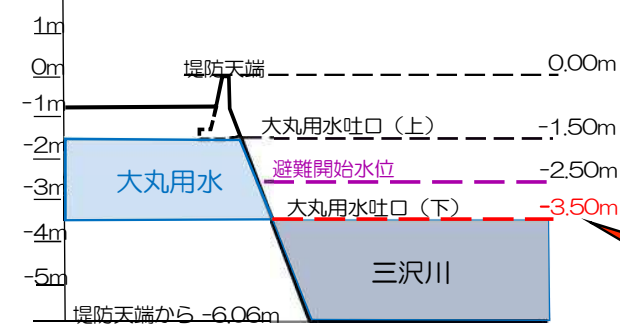
※必要な時間（目安）は、令和元年東日本台風時における1時間あたりの最大水位上昇量による想定であり、発生する事象によって異なります。

①高齢者等の避難開始 水位

三沢川の水位が水路の下端（天端から-3.50m）に達したら、高齢者等の避難を開始していただくための情報を発信します。

令和元年東日本台風時の三沢川の最大水位上昇量（0.92m/h）を参考とし、避難準備などに必要な時間（1時間）を見込んで設定しています。

※三沢川などの中小河川では、避難準備に必要な時間（リードタイム）は30分とされていますが、安全を見て1時間で設定しています。



情報の入手方法

- ・メールニュースかわさき
- ・パトロール車等による現場での広報
- ・ホームページの水位情報

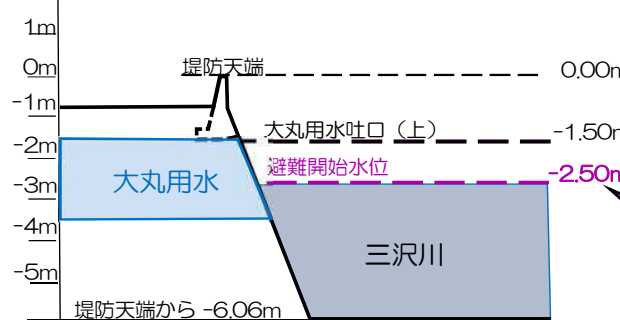
住民が取るべき行動

- ・高齢者等の避難に時間がかかる人は避難開始
- ・その他の人は、避難準備（家財・車などの避難）

②避難開始 水位

三沢川の水位が天端から-2.50mに達したら、避難を開始していただくための情報を発信します。令和元年東日本台風時の三沢川の最大水位上昇量（0.92m/h）を参考とし、避難に必要な時間（1時間）を見込んで設定しています。

※三沢川などの中小河川では、避難完了までに必要な時間（リードタイム）は1時間とされています。



情報の入手方法

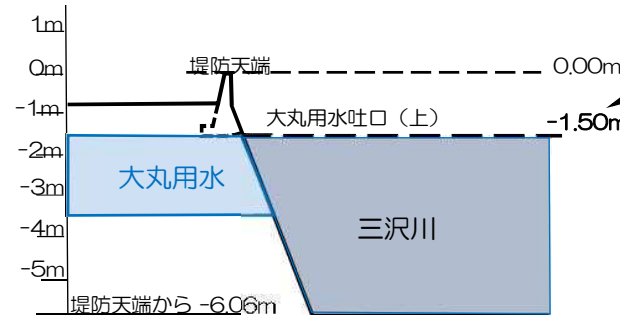
- ・メールニュースかわさき
- ・パトロール車等による現場での広報
- ・ホームページの水位情報

住民が取るべき行動

- ・避難開始

③避難完了 水位

三沢川の水位が水路吐口の上には達すると、浸水被害が発生する可能性が非常に高くなります。この水位までには避難を完了し、万が一まだ避難されていない方は建物の上階等に退避し、生命を守る行動を取る必要があります。



情報の入手方法

- ・ホームページの水位情報

住民が取るべき行動

- ・避難完了